

令和4年 第3回香芝市教育委員会会議（3月臨時）会議録

日時 令和4年3月10日(木)
午後4時30分より
場所 香芝市役所 大会議室

〔出席者〕

教育長 小西 友吉
委員(教育長職務代理者) 田中 貴治
委員 三岡 正美
委員 關野 英明
委員 山田 綾子

〔事務局〕

教育部長 澤 和七
教育部次長、学校教育課長事務取扱兼任 高木 信行
教育総務課長 玉村 晃章
保健給食課長 田中 宏樹
学校支援室長 中里 倫
学校支援室参事 陀安 龍也
こども課長 上平 直美
市民図書館長 大橋 典子

〔欠席〕

生涯学習課長、青少年センター所長兼任 奥田 昇

〔書記〕

教育総務課主幹 松田 陽介

- 日程1 定足数の確認
日程2 開会の宣言

教育長 定数に達しておりますので、令和4年第3回香芝市教育委員会会議(3月臨時)を開会いたします。

委員並びに、事務局、傍聴にお越しの皆様方に申し上げます。携帯電話の電源はお切りになるか、またはマナーモードにしてください。また、香芝市教育委員会傍聴規則第6条により、写真録音等が禁止されていますのでよろしく願います。本日、生涯学習課長は欠席でございます。

- 日程3 署名委員の指名について

教育長 本日の署名委員は、關野委員と山田委員にお願いいたします。

- 日程4 (1) 香芝市学校施設等長寿命化計画の見直しについて
(2) 五位堂小学校におけるコンクリート強度の調査について

教育長 それでは日程に基づきまして日程4の案件に進みたいと思います。案件(1)諮第1号「香芝市学校施設等長寿命化計画の見直しについて」と案件(2)諮第2号「五位堂小学校におけるコンクリート強度の調査について」は、重複する内容でございますので一括審議にしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 異議が無いようですので、案件(1)と案件(2)は一括審議にすることにいたします。では、案件(1)諮第1号「香芝市学校施設等長寿命化計画の見直しについて」及び案件(2)諮第2号「五位堂小学校におけるコンクリート強度の調査について」を、事務局より説明をお願いいたします。教育総務課長。

教育総務課長 はい。それでは諮第1号「香芝市学校施設等長寿命化計画の見直しについて」の提案理由をご説明させていただきます。本案は令和2年3月に策定いたしました、香芝市学校施設等長寿命化計画について、現在開会中の香芝市議会3月定例会の一般質問において、当計画の妥当性に疑義があるとの指摘を受けました。指摘された内容は賛同する部分がございます、事務局といたしましては当計画の再点検をするのとともに見直しをしてまいりたいと考えています。つきましては、当計画の見直しについてご意見を頂戴したく思います。続きまして、諮第2号「五位堂小学校におけるコンクリート強度の調査について」の提案理由を説明させていただきます。本案は現在開会中の香芝市議会3月定例会において五位堂小学校校舎のコンクリート強度が不足しており、校舎の耐震性について疑義があるとの指摘を受けました。教育委員会事務局といたしましては、直ちにコンクリート強度について調査を行いたいと考えております。つきましては、当調査を行うことについて、ご意見を頂戴したく思います。何卒慎重ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

教育長 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございますか。田中委員。

田中委員 はい。すいません。市議会の中で指摘があったという事で2つの議案がでております。第1号の長寿命化計画の見直しは最後の方でまとめさせていただくとして、まずは個別に議会の方で指摘があった五位堂小学校のコンクリート強度の件について詳しく説明していただけないでしょうか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 はい。五位堂小学校の指摘につきましては、コンクリート強度が13.5N/mm²以下であると、その場合、解体及び撤去の水準であるとの指摘をいただいたところでございます。

教育長 他に。關野委員。

關野委員 そのような指摘があったとのことですが、どのような対応を考えておられますか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 まずは早急にコンクリート強度の再調査を行いまして、その結果を受けまして適切な対応を行う必要があると考えております。以上です。

教育長 他に質問等。三岡委員。

三岡委員 失礼いたします。2年前に策定いたしました香芝市学校施設等長寿命化計画の中の資料で五位堂小学校、確かにコンクリート強度が12.2と記されております。耐震・安全性の欄で診断済みで補強の方は「済み」となっています。資産上区分で「再調査」となっているんですけども、これは2年前に再調査ということが出ていますが、この2年間の内に再調査は行われているのでしょうか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 調査は行っておりません。要調査と書いてある調査につきましては、次の計画の際に調査する予定です。

教育長 他に何かございませんか。關野委員。

關野委員 今の五位堂小学校の強度の再調査ですけども調査費用の試算はありますか。調査期間等も教えて下さい。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 調査費用の概算でございますが、だいたい60万円程度かと考えております。調査期間につきましては、2、3日で調査は終了しますが、準備、結果資料の作成等により日数がかかりますので、2週間程度は必要かと考えております。

教育長 他に何かご意見はないでしょうか。三岡委員。

三岡委員 調査自体は短期間で済むとのことですが、耐震・安全性で「補強済み」とのことですので、非常に危険な状態ではないと理解してよろしいですか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 耐震性につきましては、耐震判定委員会の方で「安全」と指摘はされております。ただ、コンクリート強度については、低い値がでておりますので、まず調査をさせていただきたいと考えております。

教育長 他にございませんか。田中委員。

田中委員 元々、長寿命化計画の中で先ほど指摘があった13.5N/mm²という基準がありました。が、旧耐震基準ですとか、13.5Nという数値のものは全く手をつけないという意味ではなく長寿命化せず、建て替えに費用を充てるという計画になっていたかと思えます。単純に比較することは難しいと思えますが、過去に委員会会議でもお話があったと思うんですが、二上小学校が高山台の児童が増えたことで増築を繰り返していたことがあったと思えます。その際に、通学路の距離の問題等もあって、仮に標準的な学校の新築の費用について、質問したことがあります。同じ条件での質問ではないかと思えますが、その時のお答えはおおよそ15億円との話でした。前回の教育委員会会議で、

関屋小学校の建て替えは、12、13億円かかるのお話がありました。2、3億円というお金は大きいお金ですが、それで数十年をもたせるのか、立て替えて、新耐震基準であれば80年、コンクリートは、長耐久型であれば100年もつと言われていきますので、果たしてどこまで長寿命化に投資を行うかのバランスを考える必要かと思えます。前回までのお話では、長寿命化をすることが決まっていたのですが、そうしたことも見直していきたいと思えます。もう1つお伺いしたいのは、費用の比較が単純にできないものだとしても、関屋小学校に限っては建て替えに12、3億円が必要として、15億円との差が数億円としても前回のお話では、補助金が改築というか補修の費用は出ず、10億円ぐらいの費用の持出になるとお伺いしていましたが、土地等の問題もあるかと思えますが、もしも新築となった場合には国の方から補助金は改築の場合と比べてどのような形で受けることができるのでしょうか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 新築時の補助金でございますが、今年の単価でいいますと、鉄筋コンクリート造の場合、1㎡あたり208、500円の建築費用が掛かるとされております。そのうちの2分の1が補助金としていただけることとなっております、大きさにより異なりますが、実際にかかる工事費用との比較もございまして、実際に一概に208、500円の半分とは言えませんが、近い金額をいただけると思えます。

教育長 田中委員。

田中委員 どこに用地を準備するのか等の別の費用もあり、単純に建て替えましようとはいかないでしょうが、長寿命化に自己資金を投資するのか、新築に国からの助成を受けるのかについては、教育部だけでなく、市の財政としてもバランスについて検討が必要かと思えます。

教育長 他に何かご意見。三岡委員。

三岡委員 田中委員からもご意見を頂戴しましたが、長寿命化でいくのか、あるいはこれまで築60年を目途に建て替えということを考えていたので、建て替えをするのかについて、前回の教育委員会会議で関屋小学校の長寿命化について、費用的な課題や将来の小中一貫校として考えた場合、児童の生活に影響のあるトイレについては、充分検討した上で進めていただきたいというお話になりましたが、今現在、長寿命化計画の見直しについては、どのような見直しを考えておられますか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 他の施設につきましても経年劣化によりまして基準を満たしていない可能性がありますと指摘を受けたところでございます。また、現在の計画で全ての施設を長寿命化してまいりますと財源的に厳しい状況で、全ての施設の改修はできないと財政当局からも指摘を受けているところでございます。そのようなこともありまして、まずは将来の学校施設の再編についての方向性を示した方針を作成いたしまして、その方針に基づいた施設の整備計画を作成してまいりたいと考えているところでございます。

教育長 他にございませんか。山田委員。

山田委員 関屋小学校を見直しされるとのことですが、見直しによってまた後回しになるのか

なという不安もありますが、トイレの改修だけでも早急に対応いただける位置づけにしていればありがたいと思います。本当に劣悪な環境で子ども達も地域も我慢してきていますので、トイレだけでも対応をお願いいたします。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 新たにこれから方針や整備計画を作成してまいります、トイレの改修や必要な改修につきましては、予算の要望を行い随時進めてまいりたいと考えております。

教育長 他に。田中委員。

田中委員 まずは長寿命化、第1号のお話に戻りますが、長寿命化計画の見直しについて、先ほどの関屋小学校のフル改修を行った際の費用と以前の15億円の差、国からの補助金の額を比較した際に、長寿命化を前提に作った前の計画を旧基準や13.5という基準値の際は建て替えるという記載もありますが、当然のことですが、今後児童生徒数も減少していきますので、もう一度学校の適正配置について考えていく必要があると思います。今回は五位堂の調査と関屋小学校のお話ですが、関屋小学校については、土砂崩れの警戒地域ということや、地図上で見れば校区の中心に位置しているように見えますが、実際にお住まいの方が多地域を考えると北西の山側に学校が存在しています。もちろん体力がつくというメリットもありますが、晴美台の方に新しい宅地開発が行われたり、実際の学校の配置についても今のままで良いのかと少し疑問を持たざるをえないかなと思います。統廃合という言い方はとても嫌で元々わかれたものが集約されるだけのものだと思いますが、新たに学校再編の計画を作りながら、旧耐震基準によるものも活用して長寿命化するものは使いながら、どうすれば将来的な人口等も含めて適正な配置になるのか検討する必要があるかと思ひます。新しい学校を作る時には、段差がない、通信インフラを張り巡らせるのに都合が良いなどもメリットがあるかと思ひます。長寿命化計画を原案として、例えば小中一貫校を1校作るといった将来的な学校の再配置を考えた計画を作成いただければ良いかと思ひます。ただ、先ほどからも色々ご指摘がありありますが、今までの長寿命化計画でみると水回りがCランクになっている学校がたくさんあります。おそらく一番はトイレだと思いますが。トイレについては、学校からも計画通りに改修を期待している声も多いかと思ひますので、そこについては、今の方針をかえずに必要な部分をかえていき、新たな再編計画と現在の長寿命化計画をハイブリットにつかひながら、将来の子ども達のために計画を策定いただければと思ひます。

次に五位堂小学校に関してですが、13.5N/mm²という基準があり、耐震補強も完了しており、調査後の劣化度合いについては、再度調査を行わないとわからないところではあります、解体・撤去の基準であるとのことご指摘もありましたが、耐震補強との兼ね合いもあり、早急に再調査いただき、結果をご報告いただいた後に今後の方針について議論させていただければと思ひます。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ございませんか。關野委員。

關野委員 五位堂小学校は再調査するというのは当然だと思ひます。また、他の施設についても再調査の必要が出てくる可能性もあります。本日、色々な話があった中で色々な観点も取り入れることも検討が必要かと思ひますが、いつまでに方針・計画の作成を考えておりますか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 計画につきましては、令和4年度中に青写真の作成を行うことを考えております。

教育長 他にご質問等ございませんか。山田委員。

山田委員 これからまた新たに方針や整備計画を作成していくとのことですが、先ほど田中委員がお話させていたように水回りの修繕が必要なところもたくさんあると思います。トイレの改修が必要な学校や様々な修繕が必要な学校への対応について、今後どのように考えられていますか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 計画の作成期間中も計画の実施までに時間を要しますので、必要な改修につきましては、随時検討して実施してまいりたいと考えております。特にトイレにつきましては、今の計画にぶれないような形で進めていきたいと考えております。

教育長 他にいかがでしょうか。ご意見等もうございませんか。よろしいでしょうか。そうしましたら、この2案件につきまして、教育委員会事務局として進めていくということで異議ございませんでしょうか。

各委員 (「異議なし」の声あり)

教育長 異議がないようですので、2案件とも事務局として進めていくことにいたします。教育部長。

教育部長 ありがとうございます。今いただきましたご意見、こちらの方で確認させていただきまして、この2案件につき進めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

教育長 それでは、案件(3)といたしまして、その他各課より報告がありましたらお願いいたします。学校支援室長

学校支援室長 失礼いたします。本日午前中でございますけれども、3月の定例の校長会を開きました。その中で新型コロナウイルス感染症に関する対応方針につきまして一部更新という事で、校長会で指示伝達をいたしましたので、その内容につきまして報告をさせていただきます。ほとんどの活動については、変更はないわけですが、中学校の部活動につきまして、3月12日より、できる限りの感染防止対策を講じた上で、時間制限を設けておる場でございますけれども、平日は1時間、休日は2時間の範囲内で、生徒以外の部活動への参加は厳に慎んでいただく形で部活動を再開するというふうな緩和をいたしました。対応方針については、以上そのような形で校長会で報告をいたしましたので、この場で、委員の皆様にも報告をさせていただきました。以上でございます。

教育長 ただいまの報告につきまして、ご意見、質問ございませんか。それでしたら、他の課より何か報告することはございますか。ございませんか。では、本日の案件は全て終了いたしました。これをもちまして、令和4年第3回教育委員会会議を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、慎重審議ありがとうございます。以上をもちまして散会いたします。

(午後5時02分 閉会)